

平成30年度 第12回 吹田市政策会議概要

日 時：平成31年1月17日（木）午前10時00分～午前10時50分

場 所：吹田市役所 高層棟4階 特別会議室

構成員：後藤市長、春藤副市長、辰谷副市長、原田教育長、小西総務部長、
稲田行政経営部長、高田市民部長、畑澤都市魅力部長、橋本学校教育部長

所 管：【地域教育部（文化財保護課）】木戸地域教育部長、西本課長、田中主幹

案 件	旧西尾家住宅大規模修繕基金の設置について
担当及び関連部局	地域教育部（文化財保護課）
<p>【案件概要】</p> <p>旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)について、平成31年度(2019年度)から11年をかけて耐震対策を含めた大規模修繕工事を計画している。旧西尾家住宅保存の重要性をPRし、大規模修繕の財源に充てるために、「(仮称)旧西尾家住宅大規模修繕基金」を設置しようとするもの。</p>	
<p>【所管部の考え方】</p> <p>旧西尾家住宅を貴重な歴史遺産として保存し、次世代に伝えていくために、市内・市外在住の方を問わず、旧西尾家住宅に一層の愛着をもっていただくことを目的として寄附を募り、大規模修繕の財源に充てるために基金を設置するもの。</p>	
<p>【質疑概要】</p> <p>質問： 他市で歴史的建造物の修繕のために基金を設置した事例はあるのか。</p> <p>回答： 寄附を募っている例はあるが、国重要文化財の修繕で基金を設置している例は見られない。泉佐野市では国重要文化財古民家の保存修理で目標額500万円の寄附を募ったことがある。</p> <p>質問： そのような中で、寄附を募り、基金を設置する理由は何か。</p> <p>回答： 広く寄附を募ることで、まずは本市に国重要文化財である「旧西尾家住宅」があることをPRしたい。その上で、旧西尾家住宅に一層の愛着を持っていただきたいと考えている。</p> <p>また、基金を設置するのは、いただいた寄附を工事の主体である主屋を始めとする建物等の工事に充てたいと考えており、工事の予定年度まで寄附を積み立てるためである。</p> <p>意見： ホームページなどで寄附を呼びかける上で、寄附を募る理由をしっかりと示すべきではないか。</p> <p>指示： 今回の修繕の要因は、老朽化や耐震化、また、災害による破損など、様々である。今後の修繕計画を考えるために、定期的に必要な修繕と今回特に必要と</p>	

なった修繕とを分けて整理しておくこと。

意見： 80周年事業と関連付けて何か取組ができないか考えてほしい。

【結果】

本案件は承認された。今回の会議で出された意見を踏まえて、手続を進めること。